



2025年5月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月9日

上場会社名 メディアファイブ株式会社
コード番号 3824 URL <https://www.media5.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 活
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 川上 隆幸
半期報告書提出予定日 2025年1月10日
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
TEL 092-762-0555

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年6月1日～2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期中間期	919	2.0	7	63.4	2	84.6	1	
2024年5月期中間期	938	6.9	20		19		13	

(注) 包括利益 2025年5月期中間期 1百万円 (%) 2024年5月期中間期 13百万円 (%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期中間期	1.88	
2024年5月期中間期	14.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期中間期	827	357	43.2
2024年5月期	716	359	50.2

(参考) 自己資本 2025年5月期中間期 357百万円 2024年5月期 359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期		0.00		0.00	0.00
2025年5月期		0.00			
2025年5月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年5月期の連結業績予想(2024年6月1日～2025年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2024年11月22日公表の「非連結決算への移行に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は2025年5月期第3四半期決算より「非連結会社」になることに伴い、2025年5月期の業績予想を連結業績予想から個別業績予想へ移行しております。詳細は添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年5月期中間期	986,000 株	2024年5月期	986,000 株
2025年5月期中間期	46,000 株	2024年5月期	46,000 株
2025年5月期中間期	940,000 株	2024年5月期中間期	940,000 株

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善により、国内景気は引き続き緩やかな回復傾向が継続しております。一方で、海外紛争の長期化による資源価格の高騰、世界的な物価上昇、金融資本市場の変動等、経済活動に急激な影響を与える要因が払拭されておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス業界においては、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）に対する投資需要は継続しており、社会全体としてIT活用の流れが一層増加し、慢性的にIT人材が不足している状況にあります。

このような環境の中、当社グループでは、2024年3月に東京支店を銀座から秋葉原へ移転し、人材確保・育成のための先行投資として2024年3月にITエンジニア育成研修の拡大を目指し、「アキバ・テックドリーム・アカデミー」を開校、未経験者や新規学卒者を積極的に採用し、育成に注力しております。また、技術力の向上、ワークライフバランスの向上を図ることで、優秀な人材の囲い込みを図っております。加えて子育て世代の両立支援をはじめ、誰もが働きやすい職場づくりの一環として「メディアファイブ保育園薬院」の運営も行っており、地域貢献度の向上にも寄与しております。

主要事業であるSES事業は、ITエンジニアの需要が高まっていることを背景として、新規取引先の獲得及び既存取引先における契約単価交渉を行ってまいりました。

ソリューション事業は、前連結会計年度に引き続き、安定的にシステム開発案件を受注しております。引き続き、中小企業のITを支援する「OFFICE DOCTOR」サービスを軸にワンストップ型ソリューション提案を推し進めております。

工事関連事業は、内装工事等の案件を手掛けております。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高919,748千円（前年同中間期は938,516千円）、売上総利益333,547千円（同336,695千円）、営業利益7,656千円（同20,927千円）、経常利益2,984千円（同19,348千円）、親会社株主に帰属する中間純損失1,765千円（同13,750千円の親会社株主に帰属する中間純利益）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。）

①SES事業

主要事業であるSES事業は、高度IT人材の育成、技術力向上に注力するとともに、取引先への契約単価交渉や戦略的な配置転換を行ってまいりました。その結果、当中間連結会計期間における売上高は755,507千円（前年同中間期は750,933千円）、セグメント利益は160,464千円（同176,158千円）となりました。

②ソリューション事業

ソリューション事業は、前連結会計年度に引き続き、中規模・小規模のシステム開発案件の受注、中小企業のITを支援する比較的ライトな「OFFICE DOCTOR」サービスの提供を安定的に行っております。また、今後の業容拡大を目指し営業活動に注力してまいりました。その結果、当中間連結会計期間における売上高は121,235千円（同130,442千円）、セグメント利益は33,775千円（同46,561千円）となりました。

③工事関連事業

工事関連事業は、福岡県の各種テナント・賃貸ビル等の内装工事・外装工事を中心に事業を行っております。当中間連結会計期間は、既存先への提案型営業を強化してまいりました。その結果、当中間連結会計期間における売上高43,182千円（同58,531千円）、セグメント損失は2,709千円（同2,073千円）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

資産・負債・純資産の状況

(資産)

資産合計は827,809千円(前連結会計年度末は716,756千円)、うち流動資産693,776千円(同567,853千円)、固定資産134,032千円(同148,903千円)となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金500,267千円(同372,836千円)、売掛金160,199千円(同153,395千円)、前払費用16,449千円(同15,212千円)等であります。固定資産については、有形固定資産17,004千円(同16,144千円)、無形固定資産10,720千円(同9,716千円)、保険積立金19,530千円(同19,530千円)、敷金及び保証金38,653千円(同51,439千円)、繰延税金資産38,674千円(同41,602千円)等であります。

(負債)

負債合計は470,101千円(同357,016千円)、うち流動負債347,170千円(同252,256千円)、固定負債122,931千円(同104,760千円)となりました。

その主な内訳は、買掛金15,908千円(同9,583千円)、短期借入金100,000千円(同15,000千円)、未払金20,399千円(同18,871千円)、未払費用123,098千円(同123,085千円)、未払消費税等25,925千円(同28,058千円)、預り金31,815千円(同20,454千円)等であります。固定負債については、長期借入金121,960千円(同104,760千円)であります。

(純資産)

純資産合計は357,707千円(同359,740千円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月22日に公表いたしました「子会社株式の譲渡(子会社異動)に関するお知らせ」及び「非連結決算への移行に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は、2024年12月2日付で連結子会社である株式会社匠工房の株式を譲渡いたしました。この結果、連結子会社が存在しなくなり、2025年5月期第3四半期決算より非連結決算へ移行するため、2024年7月11日の決算短信で公表いたしました2025年5月期通期連結業績予想は取り下げ、通期個別業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日(2025年1月9日)公表の「2025年5月期第2四半期(中間期)の業績予想と実績値との差異及び非連結決算への移行に伴う通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	372,836	500,267
売掛金	153,395	160,199
仕掛品	15,229	4,105
原材料及び貯蔵品	255	241
未収入金	7,854	8,926
前払費用	15,212	16,449
その他	3,858	4,351
貸倒引当金	△790	△765
流動資産合計	567,853	693,776
固定資産		
有形固定資産	16,144	17,004
無形固定資産	9,716	10,720
投資その他の資産		
長期前払費用	2,212	2,211
保険積立金	19,530	19,530
敷金及び保証金	51,439	38,653
従業員に対する長期貸付金	2,243	1,222
繰延税金資産	41,602	38,674
その他	6,014	6,014
投資その他の資産合計	123,042	106,306
固定資産合計	148,903	134,032
資産合計	716,756	827,809
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,583	15,908
短期借入金	15,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	18,720	18,720
未払金	18,871	20,399
未払費用	123,085	123,098
未払法人税等	9,681	6,449
未払消費税等	28,058	25,925
預り金	20,454	31,815
契約負債	7,918	3,768
その他	880	1,085
流動負債合計	252,256	347,170
固定負債		
長期借入金	104,760	121,960
繰延税金負債	—	971
固定負債合計	104,760	122,931
負債合計	357,016	470,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	198,925	198,925
資本剰余金	164,625	164,625
利益剰余金	5,013	2,980
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	359,740	357,707
純資産合計	359,740	357,707
負債純資産合計	716,756	827,809

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
売上高	938,516	919,748
売上原価	601,820	586,200
売上総利益	336,695	333,547
販売費及び一般管理費	315,768	325,891
営業利益	20,927	7,656
営業外収益		
受取利息	89	73
保育事業収益	21,440	27,163
雑収入	18	267
営業外収益合計	21,548	27,503
営業外費用		
支払利息	268	751
保育事業費用	22,858	26,022
地代家賃	—	5,402
営業外費用合計	23,127	32,176
経常利益	19,348	2,984
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前中間純利益	19,348	2,984
法人税、住民税及び事業税	6,477	734
法人税等調整額	△879	4,016
法人税等合計	5,598	4,750
中間純利益又は中間純損失(△)	13,750	△1,765
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失(△)	13,750	△1,765

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	13,750	△1,765
中間包括利益	13,750	△1,765
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	13,750	△1,765

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社株式の譲渡)

当社は、2024年11月22日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社匠工房(以下、「匠工房」という。)の当社が保有する全株式を譲渡することを決議し、2024年12月2日に譲渡が完了いたしました。本株式譲渡により、匠工房は当社の連結の範囲から除外されることとなります。

(1) 譲渡の理由

当社は2011年7月に匠工房の株式を取得し、以後、匠工房は当社の子会社として福岡市内で内装工事等を展開してまいりました。また、当社と匠工房の関係としては、匠工房は当社の顧客らの内装工事等を行ってまいりました。当社グループにおける中長期的な事業戦略を検討する上での選択と集中を実施すると同時に、匠工房及びその従業員の発展を考慮した結果、匠工房の代表取締役である馬場浩司氏へ当社が保有する全株式を譲渡し、同氏へ匠工房の経営権を譲渡する判断に至りました。なお、本株式譲渡後においても、匠工房は当社との取引を当面継続する予定です。

(2) 当該子会社の名称、事業内容及び当社との取引内容

名称	株式会社匠工房
事業内容	建築業
当社との取引内容	内装の発注等

(3) 株式譲渡の相手先

代表取締役社長 馬場 浩司

(4) 株式譲渡日

2024年12月2日

(5) 譲渡株式数、譲渡前後の所有株式数及び譲渡価額

異動前の所有数	155株 (議決権の所有割合: 100.0%)
譲渡株式数	155株 (議決権の所有割合: 100.0%)
異動後の所有株式数	0株 (議決権の所有割合: 0%)
譲渡価額	10,000千円

(6) 業績に与える影響額

本株式譲渡に伴い、2025年5月期第3四半期会計期間において、関係会社株式売却益1,550千円を特別利益に計上する見込みです。

(7) 譲渡する会社が含まれている報告セグメントの名称

工事関連事業

本株式譲渡に伴い、これまで「SES事業」「ソリューション事業」及び「工事関連事業」としていた報告セグメントは、2025年5月期第3四半期会計期間から「SES事業」「ソリューション事業」に変更となります。

(8) 非連結決算への移行について

本株式譲渡に伴い、当社は2025年5月期第3四半期会計期間から非連結決算会社となる予定です。